



保健給食課 ～新型コロナウイルス感染防止対策～

本校で、毎日取り組んでいる感染予防対策を紹介します。

<p>① 家庭での検温及び学校での健康観察 ○家庭「健康チェック表」による検温、体調確認 ○学校 担任の目視による健康観察</p>	<p>② マスクの着用  基本常時着用しています。屋外の体育時には活動によりはずすこともあります。</p>
<p>③ 加湿空気清浄機の活用 全教室に設置して、終日稼働しています。その日の気温・湿度に合わせて使い方を変わっています。</p>	<p>④ 常時換気 教室の窓やドアを開放して、教室内の空気が滞らないようにしています。換気扇も児童生徒在校中はつけています。</p>
<p>⑤ エアコンの活用 気温や児童生徒の身体状況を見ながら過ごしやすい環境を作っています。</p>	<p>⑥ こまめに手洗いと手指の消毒 消毒液を教室に常備して、児童生徒が手洗い後や給食前に使用しています。物を共有する際の消毒も心がけています。</p>
<p>⑦ 3密の回避 スクールバス内、授業場所、給食場所や食べる向き、職員室内のしきり等、3密を避ける工夫をしています。</p>	<p>⑧ 校内の消毒 “新型コロナ対応業務スタッフ”3人が、校内の手すり、ドアノブ、壁等、児童生徒・職員が触れる部分の消毒業務を行っています。</p>

(保健給食課 杉山陽子)

情報教育課 「ICT(情報通信技術)を活用した授業」

本校では小・中学部に一人1台の「i-Pad」(国の GIGA スクール構想)、高等部には約二人に1台の「chrome book」が配備され使われています。子どもたちの実態に合わせた効果的な利用方法を実践の中で確かめています。子どもたちは情報端末を使うことにより意思表示の手段の幅が広がり、思いが伝わるのが喜びや気持ちの安定、意欲に結びついていきます。中・高等部段階になると、調べ学習において自分で知る喜びを強く感じているようです。生徒同士が自然に端末の使い方などを教え合う協力の姿も見られます。

<小学部>国語・算数で文字の大きさを変えたり、数(10まで、50まで、など)を変えたりして段階に合わせてアプリを使用しています。子どもたちは端末で行う課題に興味を持って取り組んでいます。

<中学部>「いろいろな仕事を調べよう」では仕事の名前や内容、仕事をするためにはどんな力が必要なのかを調べ、まとめました。次に調べる職業を自分で決めたり、将来就いてみたい仕事、そのために今から何に取り組むか、を決めたりすることができるようになりました。

<高等部>「進路先見学」や「修学旅行」などの調べ学習を始め、コロナ禍で全員が集まれないときに Zoom や Google meet を利用し遠隔で発表し合うこともしています。

子どもが吸収する速さには驚くばかりです。大人側も ICT に対する知識を高め、端末を与えるだけでなく使用時の約束を決めたり、情報モラルを教えたり、端末にフィルタリングをかけたりし、使用実態を把握することが大切だと思います。

(情報教育課 佐野友彦)

